

平成24年度次世代育成支援対策推進行動計画 C評価事業一覧

「*」は平成20年度実績

事業No.	事業名	担当課	事業内容	平成21年度(計画策定時)実績	平成24年度実績	平成26年度目標	平成24年度歳出予算	平成24年度歳出決算	平成24年度実施状況	24年度実施状況において、26年度目標(達成)に対して努力した点・未達成の理由等	H24所管評価	H24評価結果	平成25年度における事業推進の目標
6	一時預かり事業	保育課	一時保育の要件を拡大し、柔軟な対応により、子育て支援を行う。(特定保育も充足)	未実施	未実施	検討	—	—	特定保育事業としては実施していないが、概ね一時預かり(一時保育)事業の中で対応した。	一時預かり(一時保育)事業の中で対応した。	C	C	可能な限り一時預かり(一時保育)事業の中で対応する。
31	まねっこ	健康課	10か月児健診を受診した親子を対象に交流広場の提供をする。	実施(月1回)	廃止	継続	—	—	子育てセンターのカンガルークラブで統合して実施しているため、健康課では実施せず。	実施なし	C	C	「カンガルークラブ」を充実させ、「まねっこ」事業自体は廃止とする。
③⑥	母親教室(母親同士の交流会)	児童センター	子育ての悩みや問題について、座談会形式で話し合い、児童の健全育成について考える。	実施*(年6回)	継続(年4回)	継続	91	33	毎年実施している親育ちセミナーが講師都合により未実施となった。 23年度 262人 24年度 103人	リフレッシュ講座の回数を2回から3回に増やして実施。	C	C	親育ちセミナーの再開ほかを継続して実施する。
③⑦	ミニ講演会の開催	児童センター	「子どもの人権」をテーマに、子育て、教育等について講演会を行い、話し合いの場を提供する。	実施(年1回)	継続(年1回)	継続	37	29	参加者のアンケートをもとに講演テーマを決めて実施 23年度 25人 24年度 16人	講演会の実施時期が3月であった事とテーマに保護者の関心が集まりにくかった点で参加者が減った。	C	C	参加者人数拡大に向けて、テーマを保護者が関心の高いもので実施する。
47	子育て広場	保育課	在宅の親子が保育所に集まり、子育ての楽しさについて学び合う。	実施(4か所)	廃止	継続	事業No212で一括計上	事業No212で一括計上	「体験保育」事業を充実させる	「体験保育」事業の実施	C	C	「体験保育」事業を充実させる
48	園庭開放	保育課	地域の乳幼児の親子の交流の場、遊び場、子育ての相談の場として、保育所の園庭を開放する。	実施(6か所)	継続	継続	事業No212で一括計上	事業No212で一括計上	公立6保育所で継続実施 開催日:毎週1回、時間:午前10:00~11:30 参加者:H24→660人	早めにイベント等は周知するように努力したが、室内での遊びを好む親子が多く、人数が少ない時もあった	C	C	より事業の周知を徹底し、内容を充実できるようにする
50	出前保育	保育課	保育士と保育所児が公園等で地域の子どもと交流する。	実施(2か所)	廃止	継続	事業No212で一括計上	事業No212で一括計上	地域のニーズに合っておらずH23年度より実施に至らず。	園庭開放事業を充実させる	C	C	園庭開放事業を充実させる
①⑥	育児サポートルーム	児童センター	市内子育てグループに遊戯室を開放する。	実施(月1回)	継続	継続	—	—	子育てグループの利用なし	部屋の空き状況により、利用できる日が月1回と限られているため、ニーズが低くなった。	C	C	遊戯室の開放について、利用しやすい方法を新たに考え試行する。
164	子どもの居場所としての青少年センターの充実	青少年育成課	児童の活動の場の一つとなるように、青少年センター機能の充実を図る。	実施(プレイルームの開放)	閉鎖	継続	—	—	青少年が集える空間(オープンスペース)として小規模改修計画実施までは閉鎖	青少年の居場所づくりをセンター内の遊休スペースの活用を行い設置する。	C	C	青少年の居場所づくりをセンター内の遊休スペースでの活用方法の検討を早急に行う。
179	親子自然教室	児童センター	野外で自然に触れながら、植物や昆虫の採集、観察を行い、親子及び参加者同士の交流を図る。	実施*(年6回)	廃止	継続	—	—	廃止	廃止	C	C	廃止

○ : 今年度新たにC評価となった事業